



2017年10月8日

各 位

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
代表者 代表取締役会長兼社長 川崎博也
(コード番号 5406)
問合わせ先 秘書広報部長 楠山泰司
(TEL 03-5739-6010)

当社が製造したアルミ・銅製品の一部に関する不適切な行為について

このたび、当社のアルミ・銅事業部門（同部門傘下のグループ会社を含む。）において、お客様との間で取り交わした製品仕様に適合していない一部の製品につき、検査証明書のデータの書き換え等を行うことにより、当該仕様に適合するものとして、出荷していた事実（以下「**本件不適切行為**」といいます。）が判明しました。

本件不適切行為は、当社が過去1年間に出荷した製品を対象として実施した契約遵守状況の自主点検及び緊急品質監査を通じて判明したものです。本件不適切行為の対象として現時点で判明している製品（以下「**本件不適合製品**」といいます。）の概要は以下のとおりです。

主な製品：アルミ板、アルミ押出品、銅板条、銅管及びアルミ鋳鍛造品
出荷期間：2016年9月1日～2017年8月31日
数量等：アルミ製品（板、押出品） 約19,300 t
銅製品（板条、管） 約2,200 t
アルミ鋳鍛造品 約19,400 個

現在、当社は、本件不適合製品の出荷先のお客様に対し、逐次、ご連絡及びご説明を開始するとともに、本件不適合製品を使用したお客様の製品に対する品質影響（安全性含む）についての技術的検証をお客様とともに行ってまいります。また、本件不適切行為に係る事実関係の調査及び他の事業部門における同種の不適切行為の有無に関する調査を行っております。これまでの検証・調査において、本件不適合製品の安全性に疑いを生じさせる具体的な問題は確認されておりませんが、万が一、本件不適合製品の安全性に疑いが生じた場合には、迅速かつ適切に対応する所存です。

また、当社は、事態の重大性に鑑み、当社会長兼社長である川崎博也を委員長とする品質問題調査委員会を設置するとともに、外部法律事務所に対し、本件不適切行為に係る事実関係の調査を依頼しており、現在、この調査が進められているところです。今後、この事実調査の結果等を踏まえ、適切な対応を迅速に進めてまいります。

なお、本件による業績への影響は現時点で不明です。今後、影響の程度が判明した時点で公表

を行う予定です。

このような重大事案を生じさせたことは慙愧に堪えず、深く反省するとともに、お客様をはじめ、関係者の皆様に多大なご心配、ご迷惑をお掛けしますことを心よりお詫び申し上げます。今後調査が進展し次第、改めてご報告をさせていただきます。

以 上